

※転載許可済み

川越に企業向け貸農園

1日開園 障害者雇用の場に

知的・精神障害者の雇用を目的にした企業向け貸農園「わーくはびねす農園 さいたま川越」(川越市下赤坂)が六月一日にオープンする。

農園を借りる企業が障害者を雇用して、水耕栽培のハウスで野菜や果物を生産。自社レストランの食材にしたり、子ども食堂への提供など社会貢献活動に利用したりする。十三社が七十五人の障害者を雇用する枠があり、既に十二社が決まっているという。

企業は障害者の法定雇用率を達成する一方、一般企業への就職が難しい知的・精神障害者は一日六時間、月に二十日間の労働で十一万円の賃金を得られる。

わーくはびねす農園は、人材派遣会社エスプールグループのエスプールプラス(東京都千代田区)が、関東、東海地方に十九カ所を運営。県内では十七社が障害者百五人を雇用する、さいたま市岩槻区の農園(昨年六月開設)に次いで六月にオープンする「わーくはびねす農園 さいたま川越」川越市で



5へ。
(中里宏)

働きたい障害者のほか、サポートスタッフ(二十五人)も募集している。問い合わせはエスプールプラス 電03(6859)655